

拠点観光施設である「しかべ間歇泉公園」と特産品等を販売する「食とうまいもの館」（物産館）の運営体制の充実を図ることにより、観光客のリピーター率の向上による施設利用料及び町特産品の売上拡大、さらには、雇用促進に繋げる。

関連数値目標・KPI ※代表的なものを記載

	基準値 (H26)	実績 (H29)	目標値 (R元)	進捗率 (%)
観光客入込数	174,000人	459,600人	300,000人	153.2
拠点観光施設遊園者数	4.6万人	6.4万人	10.0万人	64.0
物産館の売上額	0	159,575千円	53,000千円	301.1

取組の推進体制

役場、商工会、漁業協同組合、議会らから構成される「道の駅しかべ間歇泉公園運営協議会」を設立し、施設の管理運営、施設を活用した行事・事業の実施について協議している。



やま さと
きらめく海・駒ヶ岳 うるおいの湯郷

取組事例

第3回北海道遺産認定による知名度の向上

- 主な取組
 - ・北海道遺産協議会が認定する「北海道遺産」登録に向け、官民一体となり長年整備を進めたところ、「しかべ間歇泉」が第3回北海道遺産に認定された。
 - これを契機に、さらなる観光客の入込が期待される。



特産品を活用したイベント等開催

- 主な取組
 - ・拠点観光施設において、毎月第4日曜日に「しかべ間歇泉わくわくサンデー！！」と銘打って、町の特産品を販売。
 - ・鹿部の旬の海産物による「浜のかあさん地元料理体験」や、温泉の蒸気で食材を蒸す「温泉蒸し釜」など、体験型観光の充実。
- 主な成果
 - 鮮魚などの特産品を扱う物産館の売上額が目標値を大きく上回る実績となっている。

